

★ 高岡市民歩こう会 ★ H28 第1回 平成28年4月3日(日)

万葉ライン 岩崎鼻灯台・もみじ姫公園コース(約6km) 予定表

9時00分 伏木正法寺(集合)
 平成28年度開始式 オリエンテーション、準備体操
 ↓
 万葉歴史館……トイレ休憩
 ↓
 気多神社
 ↓
 越中国分寺跡
 ↓
 岩崎鼻灯台
 ↓
 もみじ姫公園……昼食
 ↓
 JR雨晴駅前 解散



高岡市民歩こう会
 発祥之地記念碑
 (伏木正法寺境内)

帰りの電車					
雨晴→高岡			高岡→戸出		
雨晴発	伏木発	中川発	高岡着	高岡発	戸出着
12:57	13:06	13:16	13:20	13:32	13:47
14:27	14:36	14:46	14:50	14:16	14:34

正法寺



境内

伏木・正法寺は“昭和の寺”で、故道前泰貫さんが昭和7年に日本の将来を憂い、高岡市二上山麓にこもり、石仏を刻み、お堂を建立しました。その後、昭和13年に永平寺第68代管長の黙堂師を迎えて創建されました。伏木地区では唯一の曹洞宗のお寺で、創建されてまもないお寺ではあるものの他の古寺に劣らぬ重みと壮厳さを感じさせる雰囲気をもっています。

気多神社



気多神社は、養老2年(718年)に僧行基が創建したと伝えられています。また天平年間(757~764年)に越中一ノ宮として能登一ノ宮の気多大社から勧請したとも言われています。天文年間(1532~1554年)に上杉謙信の兵火にかかり焼失したため、永禄年間(1558~1569年)頃に再建したのが現在に残る本殿と云われています。

越中国分寺跡



越中国分寺跡には、小さな薬師堂が建っています。薬師堂の前庭および側方には講堂または金堂の遺構と考えられる土壇が約20m現存しています。薬師堂の前方20m南東の場所(現 共同墓地)には塔の跡と考えられる基壇が残っています。堂内には平安時代初期の等身大の神将像があります。

高岡市万葉歴史館



高岡市万葉歴史館は、万葉歌人「大伴家持」が政務を執った伏木地区(越中国のあった場所)の近くにありま。この歴史館では、「万葉」をテーマとし映像と音声で展示がなされています。

岩崎鼻灯台



市内における唯一の灯台です。伏木港が重要港湾に指定され、伏木港整備3ヶ年計画が始まった、昭和26年に竣工しました。海面上67m、基礎上12mの白色円筒形鉄筋コンクリート造りで、北緯36度48分19秒、東経137度3分10秒の地点にあります。現在は、海上保安庁伏木出張所からの遠隔操作によって稼動し、富山湾を航行する船の安全を守っています。

次回は4月17日(日) 福岡 岸渡川の桜を鑑賞し
 小矢部川左岸の土屋親水公園までコース約6km
 集合場所:午前9時10分に福岡駅前集合
 ※バスハイク申込 5月9日(月)午前9時から高岡市体育協会まで

もみじ姫公園



雨晴海岸国道脇にある“もみじ姫公園”ここは、トンネル工事の際に旧道と間のスペースを利用した公園。ここからは雨晴海岸を眺めることが出来る。もみじ姫の名前の由来には悲しい伝説がある。もみじ姫伝説「渋谷村に太郎という若者がいました。労役のため都に上り、御所の雑務を務めていました。そこで紅葉姫と恋に落ち、許された2人は太郎の故郷に帰ることになりました。ところが、姫は長旅に疲れ、渋谷を目の前に亡くなってしまいました。その後、太郎は谷に橋を架け「紅葉橋」と名づけ、谷も紅葉谷と呼ばれるようになりました。以来、秋になると紅葉谷は、美しく色きますが、姫の墓の傍の栗の木は実がなくなるといわれます。/参考文献『高岡の伝承』他